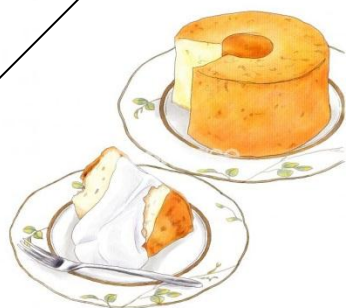


知的資産経営報告書



有限会社 なごみ

2013年1月版

1. ご挨拶	1
2. 経営哲学	2
3. 事業概要	3
4. 市場環境	5
5. これまでの事業展開	6
6. 自社の強み・優位性(知的資産)	8
(1) 農業施設関係の建設ノウハウを保有(人的資産)	
(2) 農業の安全・安心への取り組み(人的資産・構造資産)	
(3) 商品(ケーキ)の安全・安心への取り組み(構造資産)	
(4) 経営近代化への取り組み(構造資産)	
(5) 各種ネットワークの構築(関係資産)	
7. これからの事業展開	10
(1) クロスSWOT分析	
(2) 将来の経営戦略	
(3) KPI(重要業績評価指標)	
8. 価値創造ストーリーと知的資産活用マップ	12
(1) 価値創造ストーリー	
(2) 知的資産活用マップ	
9. 会社概要	14
10. あとがき	15

当知的資産経営報告書は、“(有)なごみ”名で発刊されています。実際の事業運営は、建設部門は(有)なごみ、農業部門と製菓部門は申請の都合上個人事業にて行っていますが、経営者も同一でありお相互に連携させながら一体運営されていますので、当報告書は3事業を一事業体が運営しているように記載しています。

1. ご挨拶

知的資産経営報告書発刊にあたり一言ご挨拶申し上げます。

小さな企業だからできること……………

企業を経営するには、お客様には見えない経費が必要です。私達は、小さな企業のメリットを生かし、必要経費を最小限に抑え、お客様に内容・価格ともに喜んでいただけるモノづくりを目指しています。

人は古来から衣・食・住を柱に生活をしています。この約2000年もの間、形こそ変わってはきたものの、本来の基礎となっている衣食住の原点は変わっておりませんし、これからの未来においても続いていくでしょう。弊社では、その中の“住”について、お客様に喜んでいただき、そして、納得していただけるものをモットーに平成18年より建築・土木工事の会社を立ち上げました。現在は社会的デフレスパイラルの中、少しでも良い兆しがみられることを祈りつつ事業を進めておりますが、言うまでもなく光はなかなか見えません。その中で今後は安全安心がささやかれている“食”にも目を向け、“食と住”をコラボした事業展開を考えており、現在は、**建設業・農業・製菓業の3つの柱**を基軸に展開しております。

平成21年からは有機農業を水稻をベースに開始し、8農家による有機JAS認定(団体申請)を取得いたしました。また農業法人との連携で、出口部門(出荷)の戦略も整ってきました。今後は有機農業もベースに置きながら、それに伴うインフラ整備事業も含め、安全安心な“食・住”を、基本に立ち返り進めていきたいと考えます。

先ずは、地元滋賀県高島市から、全国へ羽ばたける企業になるよう努力していく所存です。

今回知的資産経営報告書発刊にあたりまして、当社の強み・弱み等の分析を行いました。強みはさらに強化し、弱みは補強し、より顧客ニーズに対応した顧客価値創造に心掛ける心算です。今後ともご指導・ご愛顧のほどよろしくお願い致します。

2013年1月

代表取締役 采野俊和

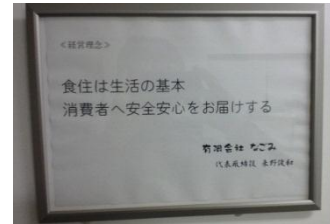


2. 経営哲学

(1) 経営理念

食住は生活の基本
消費者へ安全安心をお届けする

近年、建設の安全・食の安全がささやかれる中コストを追求するあまり、耐震補強や産地偽装といった形で、消費者への信頼が無くなりつつあります。こうした中“安かろう悪かろう”ではなく、適正な価格で安全・安心をお届けできるよう努力します。



(2) 行動規範

何事も、お客様の立場に立って考えること

先ずは何事も相手(お客様)の立場に立って考えると、自ずと答えは出てきます。その中で経営的視点から、コストパフォーマンスを踏まえ、判断します。

- ・お客さんの希望が設計にしっかりと組み込まれているか確認します。
- ・製造過程における品質管理を優先に考えます。
- ・製品の引き渡し時には、お客様の意見等を吸い上げ製品に反映します。
- ・上記のことは建設、農業に共通して行います。



農業部門



製菓部門

3. 事業概要

(1) 会社の沿革

創業期	平成18年 (2006年)	有限会社なごみ創業(資本金300万円) 認定農業者(※1) になる。
	平成19年	一般建設業許可取得(滋賀県知事許可 般-19 080744) 許可業種: 土木、建築、とび・土工、石、管、鋼構造物、ほ装、しゅんせつ、塗装、水道施設
	平成21年	第4期決算売上5,000万円を超える(建設部門)。 手作りシフォンケーキの店 “なごみ工房” をオープン
成長期	平成22年	第5期決算売上8,000万円を超える(建設部門)。 有機農業に本格的参入(水稻)
	平成23年	なごみ工房が今津サンブリッジホテルレストラン“料理天国”へシフォンケーキの卸を始める(自家米粉使用)。
	平成24年	有機JAS(※2) 認定(8農家による団体申請)
《今後の予定》		
将来	平成25年	経営審査を受け指名競争入札参加(滋賀県・高島市)(建設部門) 農業法人高島循環農業センターとの連携で有機農業の推進と同センタープロデュースの生産施設設置に伴うインフラ受注の拡大を目指す。 6次産業化(※3) 総合化計画に向け、認証を目指し、新商品(米粉使用)の開発を行う。

(※1) 認定農業者とは？

農業者が農業経営基盤強化促進基本構想に示された農業経営の目標に向けて、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画を市町村が認定し、これらの認定を受けた農業者に対して重点的に支援措置を講じようとするものです。

(※2) 有機JASとは？

有機食品のJAS規格に適合した生産が行われていることを登録認定機関が検査し、その結果、認定された事業者のみが有機JASマークを貼ることができます。



(※3) 6次産業化とは？

6次産業(ろくじさんぎょう)とは、農業や水産業などの第一次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態を表します。



なごみ工房外観



＜ケーキセット＞



今津サンブリッジホテル

3. 事業概要

(2) 事業内容

① 建設事業

事業内容: 建築部門においては、注文住宅からリフォームまでお客様の理想の自由設計プランを実現します。
土木部門においては、道路・下水・河川工事は勿論のこと、外構工事から草刈り作業まであらゆる分野にて作業をお請けします。

特徴: ゼネコンでの10年の勤務経験と家業の農業の従事経験より農業関係の土木・建築工事に強みを持っています。
また、どんな些細な内容でもご相談に応じ、工事の的確なアドバイスをさせていただきます。



＜河川工事の様子＞

② 農業事業

事業内容: 自圃場における有機JAS水稻栽培に始まり、農薬不使用の有機野菜の栽培・販売にも取り組んでいます。また、誰でも簡単に有機農業にチャレンジできるようなシステム作りも考えております。

特徴: 地元で有機農業会を作り、大手スーパー(松坂屋ストア等)へ物産の出店を行ったり、有機農業に関する勉強会を行っております。



＜収穫前 水稻有機栽培＞

③ 製菓事業

事業内容: 自家生産米粉を使った手作りの各種シフォンケーキ(※)やお菓子を作っています。店舗販売に加えインターネット・喫茶店等への卸業務を展開しています。更に6次産業化認証に向け新商品の開発にも取り組んでいます。

特徴: 自家製米粉を使用しているのでポストハーベスト(輸入の際の防汚処理剤散布)の心配がありません。また、卵等の材料も高島市産を使用しています。
厳選素材を使用していることやすべて手作りのため、その風味・美味しさ等より地元高級ホテル等でも取り扱っております。



＜プレーンシフォンケーキ＞



＜商品 (一例)＞



＜店舗販売の様子＞
(なごみ工房)



オーナーパティシエ 采野 由美
プロフィール

学生の頃に栄養士を取得
子育てを機に、食の安全を気に
かけるようになる。
子育ての合間をぬって製菓衛生
師、紅茶コーディネーター取得
シフォンケーキのインターネットシ
ョップを立ち上げる。

④ その他事業

事業内容: 土地利用等不動産に関するコンサル業務を行います。

特徴: 住宅用地から商業用地まであらゆるプランニングが可能です。

※シフォンケーキとは？

シフォンとは絹という意味で、食感が絹のように軽くめ細かいことから名づけられました。
卵黄と卵白に分けて米粉(当工房特徴)を混ぜて生地を作り、最後に二つの生地を混ぜてケーキに仕上げます。

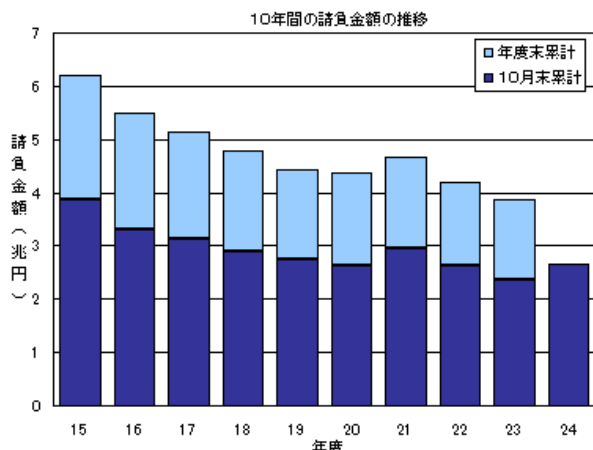
4. 市場環境

(1) 西日本の公共事業の推移

(件・億円・%)

		累計		増減率	
		件数	請負金額	件数	請負金額
発注者別	国	4,375	4,228	13.0	11.7
	独立行政法人等	1,363	2,848	23.8	55.1
	府県	23,406	7,711	2.9	5.7
	市町村	27,942	10,473	1.8	11.3
	その他公共団体	1,455	1,340	▲6.3	▲2.7
地域別	近畿地区	13,752	7,906	11.0	17.6
	中国地区	11,775	4,786	▲0.9	▲0.4
	四国地区	8,678	2,960	1.6	11.1
	九州地区	23,188	9,650	1.4	12.7
	その他の地区	1,148	1,298	10.3	36.8
合 計		58,541	26,602	3.2	12.2
平成23年度		56,727	23,701	▲7.6	▲10.1
平成22年度		61,402	26,373	▲7.8	▲10.7
平成21年度		66,629	29,546	18.3	12.7
平成20年度		56,333	26,216	▲4.9	▲4.1

＜西日本建設業保証データより＞



＜西日本建設業保証データより＞

上掲の表・グラフ等より西日本の公共事業は漸減・低位低迷と推測されます。当社としては、一般公共事業に頼るのではなく、強みである農業関係の建設工事に重点を置いてこれからの事業展開を考えたいと思います。

(2) 有機JAS認証の現状と有機JAS格付けの割合

○ 有機JAS検査認証制度の現状

有機JASの認定業務を行う機関として農林水産省に登録されている登録認定機関数及び有機JASの認定事業者数の推移は以下のとおり

登録認定機関数の推移				
	H17年10月(※1)	H18年3月	H18年12月	H19年12月
国内	72	28	52	60
外国	24	1	6	11
計	96	29	58	71

(※1)改正前のJAS法での登録
(※2)新JAS法及び改正前経過措置期間中の認定事業者の計

認定事業者数の推移						
	H14年6月	H15年5月	H16年3月	H17年3月	H18年3月	H19年12月※2
国内	2,035	2,502	2,818	3,032	3,097	4,171
(うち有機農産物)	(1,374)	(1,723)	(1,934)	(2,084)	(2,100)	(3,848)
小分け業者	377	516	623	655	786	1,099
輸入業者	84	93	112	124	176	244
計	2,496	3,111	3,553	3,811	4,059	5,514
外国	398	568	766	1,186	1,674	2,519
合 計	2,894	3,679	4,319	4,997	5,733	8,033

2

平成18年度 国内の総生産数量と格付数量

国内の総生産量と格付数量(平成18年度)

区 分	総生産量	格付数量(国内)	有機の割合
野菜	15,995,000 t	29,949 t	0.19%
果樹	3,231,000 t	1,766 t	0.05%
米	8,556,000 t	10,811 t	0.13%
麦	1,011,000 t	558 t	0.06%
大豆	229,000 t	974 t	0.43%
緑茶(荒茶)	91,800 t	1,538 t	1.68%
その他の農産物	138,000 t	3,000 t	2.17%
合 計	29,251,800 t	48,596 t	0.17%

注: 総生産量は平成18年度食料需給表(概算値)(緑茶(荒茶)の総生産量は農林水産省統計部の公表値)

上掲の表より、有機JAS認証事業者は少なく、また右上表のように有機格付け数量割合も小さい。安全・安心な食物に対するニーズは高いので、当社としては有機農業に積極的に取り組むつもりです。

(3) 認定農業者の推移

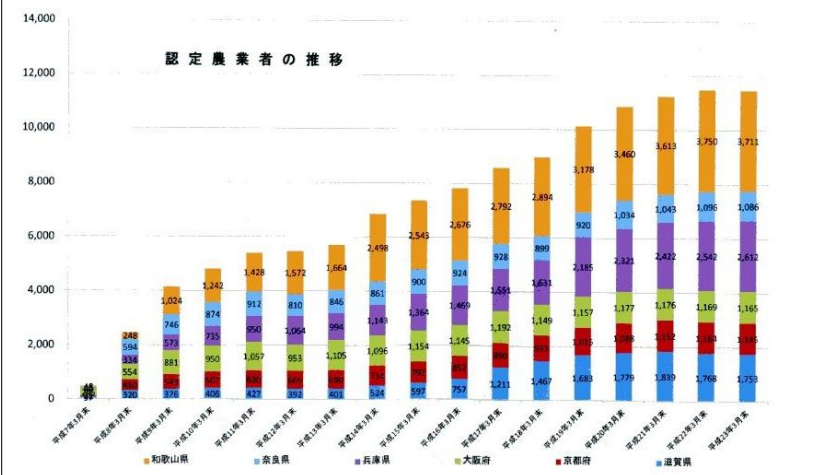
認定農業者数は、右表のように頭打ち傾向にあります。

農業事業における“認定農業者”認定の強みを積極的に活用して、農業経営の改善に前向きに取り組みたいと思います。

近畿農政局管内における認定農業者の動き

近畿地域における農業経営改善計画の認定を受けた農業者(認定農業者)の数は、年々増加していましたが、平成23年3月末調査において初めて減少に転じました。平成23年3月末現在、基本構想を策定した170市町村のうち159市町村で11,472経営体(うち法人は605経営体)が農業経営改善計画の認定を受けています。

資料: 近畿農政局調べ



5. これまでの事業展開

(1) 過去の経営戦略

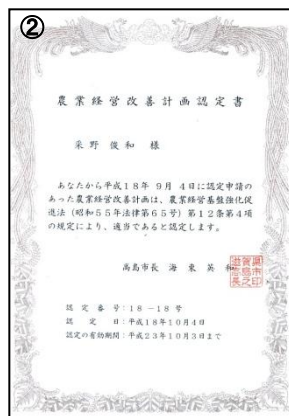
【創業期】

建設業、農業、製菓業の基盤づくり

- ・建設業許可の取得、菓子製造許可及び飲食店営業許可の取得により、営利目的としての建設業・菓子製造業（飲食店併設）の開業認可を受けると共に、農業経営改善計画の（認定農業者）認定により、農業経営改善計画に対する公的支援を受けることが可能になりました。これらにより、建設業・菓子製造業の本格的展開・農業経営の改善に取り組む基盤作りができました。

- ・右の写真は

- ①：建設業許可証
- ②：農業改善計画認定証（認定農業者）
- ③：菓子製造業営業許可証
- ④：飲食業営業許可証



【成長期】

顧客拡大の取り組み

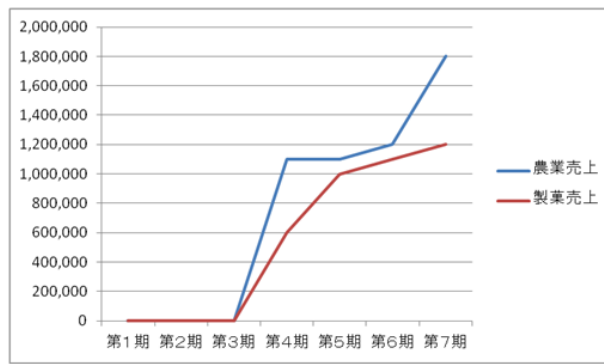
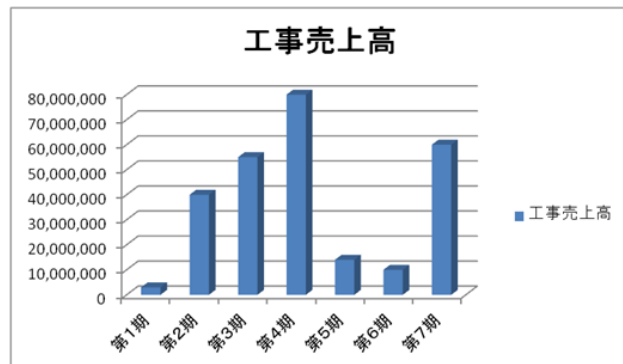
- ・顧客拡大の為に次のような取り組みをしました。

- ①安全・安心な食物を求める消費者のために、有機農業（水稲）に本格的に参入更に有機農産物の拡販を図るべく、有機JASの認定を受けました。
- ②農業経営面積の拡大（作付圃場面積の拡大）に取り組みました。
- ③シフォンケーキの卸を始めました。（ホテル等に）

(2) 事業実績

単位 (円)

単位 (円)



- ・建設部門は、営業努力不足や固定顧客が少ないこと等より不安定な売り上げ実績です。
- ・製菓部門及び(有)なごみとして農産物取り扱いを始めた第3期以降順調な売り上げの増加を見ています。

5. これまでの事業展開

(3) なごみ工房とシフォンケーキが雑誌に掲載されました

なごみ工房のシフォンケーキは、その味と風味・自家製減農薬米粉と地元新鮮卵を主原料にしている・手作り等々からケーキ愛好家のファンが徐々に増えていっています。その噂を聞きつけて、多くの雑誌に取り上げられました。その一部を紹介します。



極上シフォンのささやき声に耳をすませてみて

県産小麦粉や安曇川の産み立て卵など、できるだけ地元のものを用いた「なごみ工房」のシフォンケーキは、手でちぎると「ジュワッ」と音が出る官能的な口どけが魅力。多彩なフレーバーが揃うなか、今年いっぱいはいは葉の渋皮煮が入った「マロンシフォンケーキ」がオススメ。11月下旬には曜日限定で直接購入できる店舗を敷地内にオープン!!

㊦ なごみ工房
TEL 080-5318-6226
高島市今津町 福岡830
9:00~16:00 (受付)
日月祝休
P3台
<http://www.nagomikoubou.com>
※完全予約制
※店舗は全・土曜営業予定

デートぴあ
2011 関西版
お気持 日帰りデート
絶景ドライブ
お気持 日帰りデート
お手軽おでかけ スポット320

“GOGUY!”に掲載されました

“デートぴあ”に掲載されました

その他、“夏ぴあ”、“しがなび”JTBの“旅百話 近江路”等にも掲載されました。

6. 自社の強み・優位性（知的資産）

当社の主な知的資産としては、建設ノウハウ・農業と商品（ケーキ）の安全・安心への取り組み・経営近代化への取り組み・各種ネットワークの構築が挙げられます。
（人的資産・構造資産・関係資産の説明は次ページに記載しています）

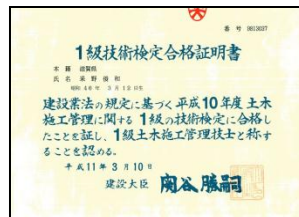
（1）農業施設関係の建設ノウハウを保有（人的資産）

①建設ノウハウ

社長は、約10年のゼネコンでの実務経験があり、設計・施工管理等の建設ノウハウを保有しています。

②農業施設関係のノウハウ

長年家業の農業にも従事してきたため、農業施設に必要な機能等を熟知しています。



<1級土木施工管理技士証>

（2）農業の安全・安心への取り組み（人的資産・構造資産）

①減農薬栽培への取り組み

水稻栽培・野菜栽培において、従来より安全・安心な農産物を届けるべく、減農薬栽培に取り組んでいます。

②有機農業への取り組み

有機農法（根圏活力農法）に取り組んでいるだけでなく、有機JAS認証を取得し、生産履歴等の“見える化”を行うことで農産物の安全・安心をお届けすることが可能です。



<水稻 有機栽培>
（根圏活力農法）

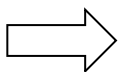
（3）商品（ケーキ）の安全・安心への取り組み（構造資産）

①生産・加工・販売の一貫生産・施工

生産・加工・販売を自社で一貫して行う（6次産業化）ことにより安全・安心の製品をお届けすることができます。



<自家製超減農薬米を米粉へ>



<米粉を使ったケーキを製作>



<自社店舗にて販売>

このように生産（栽培）・加工・販売を全て自社で一貫して行っています。

②素材の厳選と添加物の減

- ・米粉は自家製の超減農薬で栽培された「コシヒカリ」を使用しています。
- ・主素材の一つである卵は、地元高島市産の抗生物質や薬品等を使用せずに飼育されているものを選んでいきます。
- ・防腐剤や膨張剤も不使用です。そのため一般品よりは少し日持ちはしませんので、早めにお召し上がりください。



<高島市産の新鮮卵>

6. 自社の強み・優位性（知的資産）

（4）経営近代化への取り組み（構造資産）

当社は平成18年の会社設立以来、多くの経営近代化に取り組んでいます。
更に来年度以降も近代化に取り組むべく準備を進めています。

①認定された計画

- ・平成18年：「農業経営改善計画」認定（認定農業者）
“農業経営基盤強化促進法”に基づき認定されました。
- ・平成23年：「持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画」認定
“持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律”に基づき認定されました。

②来年度以降申請予定の計画

平成25年度に申請予定で現在準備を進めている計画としては、次のものがあります。

・「経営事項審査」

これは“建設業法”に規定している審査で、公共工事の入札に参加するための審査です。

・「6次産業化総合化計画」

これは“六次産業化法”に基づき認定されます。

当社では自家製米粉を使用した新商品の開発・製造・販売を計画しています。



＜持続性の高い農業生産方式
の導入に関する計画＞
認定書

（5）各種ネットワークの構築（関係資産）

当社は農業関係を主に、関係者・関係企業とネットワークを組み、情報交換・共同企画等に取り組んでいます。

①有機JAS農業グループ

地元の農業者有志8名で、共同で有機JASの申請をし、平成24年認定を受けました。今後もこのグループで、情報交換・研鑽に努め採算に乗る有機JAS農産物の生産・販売を計画する予定です。

②根活有機農業会

農業生産法人「(株)高島循環農業センター」が主宰する、「根圏活力農法」を推進する組織「根活有機農業会」の有力メンバーとして参加しています。これからもこの研究会を足場に、同農法の普及・改善に努める予定です。

((有)なごみ社長は、根活有機農業会の事務局を務めている。)



＜(株)高島循環農業センター＞

知的
資産
の
3
分
類

人的資産	従業員が退職時に一緒に持ち出す資産
例)	イノベーション能力、想像力、ノウハウ、経験、柔軟性、学習能力、モチベーション等
構造資産	従業員の退職時に企業内に残留する資産
例)	組織の柔軟性、データベース、文化、システム、手続き、文書サービス等
関係資産	企業の対外的関係に付随したすべての資産
例)	イメージ、顧客ロイヤリティ、顧客満足度、供給業者との関係、金融機関への交渉力等

7. これからの事業展開

(1) クロスSWOT分析

① クロスSWOT分析より導き出される戦略Ⅰ～Ⅳ

【 クロスSWOT分析 】

内部環境 外部環境		《強 み》	《弱 み》
		<人的資産> ①ゼネコンで10年の勤務経験があり、見積り法・施工管理法等を熟知している ②農業者の立場に立った農業施設や同施設周辺の外構等の企画・施工ができる ③オーナーパティシエはケーキ作りのノウハウが豊富である <構造資産> ④経営理念・行動規範が浸透し、外注業者も含め行動の基本となっている ⑤小さな企業ゆえ、構造的管理がしやすくレスポンスがよい ⑥経営近代化に積極的に取り組む社風がある ⑦有機JAS認証による販売先への安全・安心の見える化(価格にも反映) ⑧お米生産・米粉ケーキ作り・販売まで一貫して行える <関係資産> ⑨有機農法の農業生産法人や農業者との連携ネットワークが構築されている	<人的資産> ①専任の営業要員がいない(社長が兼務) ②専任の施工管理要員がいない(社長が兼務)、そのため同時に多くの工事を受注出来ない。 <構造資産> ③財務力が弱い因此大きな資金のかかる企画が難しい <関係資産> <その他> ④店舗(ケーキ販売店)が市街地から離れている為、一般客が少ない
《機会》	<マクロ環境> ①消費税増税前の駆け込み需要 ②地産・地消運動の高まり ③インターネットの普及 <ミクロ環境> ㊦食・住の安全へのニーズの高まり ㊦農業経営環境の変化(農地集約連反化や放棄地の開墾)による農業施設工事の増加 ㊦地元自治体からの応援(融資補助金等)	強みを活かし、機会をものにする戦略(方法).....戦略Ⅰ ①安全・安心の基盤(経営理念や有機JAS)を活かし、食・住の安全へのニーズの高まりに対応する(④、⑦×㊦) ②農業施設に強い強みを活かし、農業経営環境変化に伴う農業施設工事の増加に対応する(①、②×㊦) ③地元産厳選素材の手作りケーキを強調して、地産・地消運動の高まりに対応する(③、⑧×㊦)	弱みを克服し、機会を逃さないようにする戦略(方法).....戦略Ⅲ ①店舗立地の弱みをネット販売の活用で克服する(④×㊦)
	《脅威》	強みを活かし、脅威の影響を受けないようにする戦略(方法).....戦略Ⅱ ①農業施設に強い特徴を活かして、一般建設業と差別化を図る(①、②×㊦) ②有機JASの安全・安心を強調し、一般農業者との差別化を図る(⑦×㊦)	弱みを克服し、脅威の影響を受けないようにする戦略(方法)....戦略Ⅳ

②戦略Ⅰ～Ⅳより導き出される将来戦略

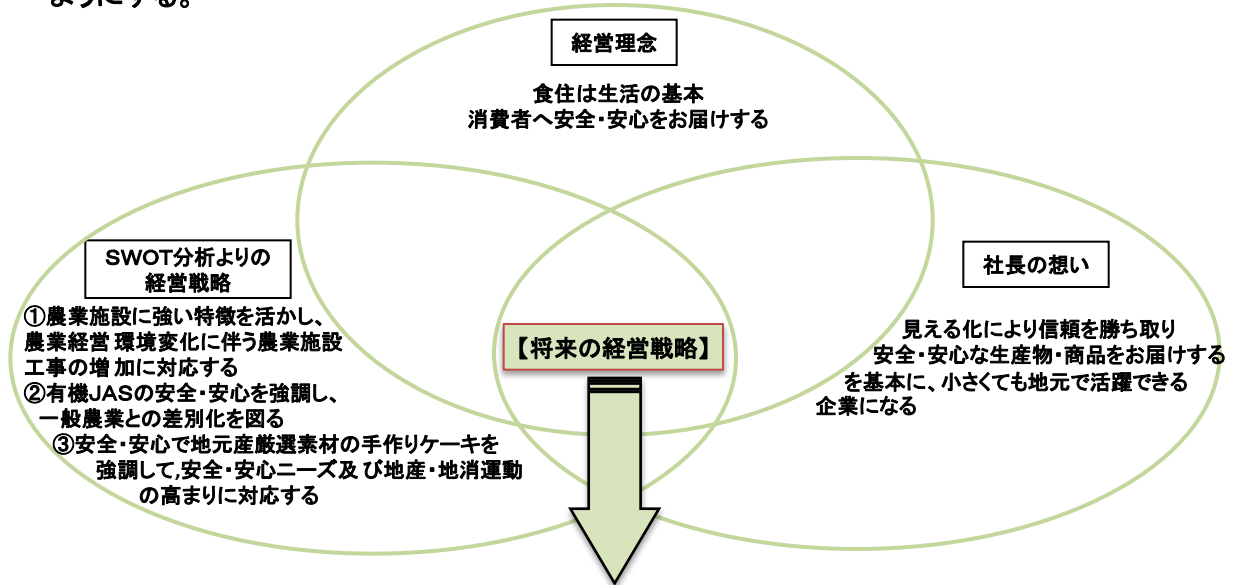
- (イ) 農業施設に強い特徴を活かし、農業経営環境変化に伴う農業施設工事の増加に対応する(農地集約連反化や放棄地の開墾)
- (ロ) 有機JASの安全・安心を強調し、一般農業との差別化を図る
- (ハ) 安全・安心で地元産厳選素材の手作りケーキを強調して、安全・安心ニーズ及び地産・地消運動の高まりに対応する

7. これからの事業展開

(2) 将来の経営戦略

① 将来の経営戦略

経営理念・経営者の想い及びSWOT分析からの経営戦略を総合して、将来の経営戦略を次のようにする。



- (イ) 建設 : 農業経営環境変化に伴う農業施設工事の増加に対応する
 (ロ) 農業 : 安全・安心の見える化(有機JASマーク等)により安全・安心な農作物をお届けする
 (ハ) 製菓 : 安全・安心で地元産厳選素材の手作りケーキをお届けする

② 将来の経営戦略を実現するための重要成功要因

- ◆品質の向上
(安全・安心の向上・見える化)
- ◆施工能力の向上
- ◆新規顧客の獲得
- ◆ネットワークの強化

③ 重要成功要因を達成するために獲得・補強すべき主な知的資産

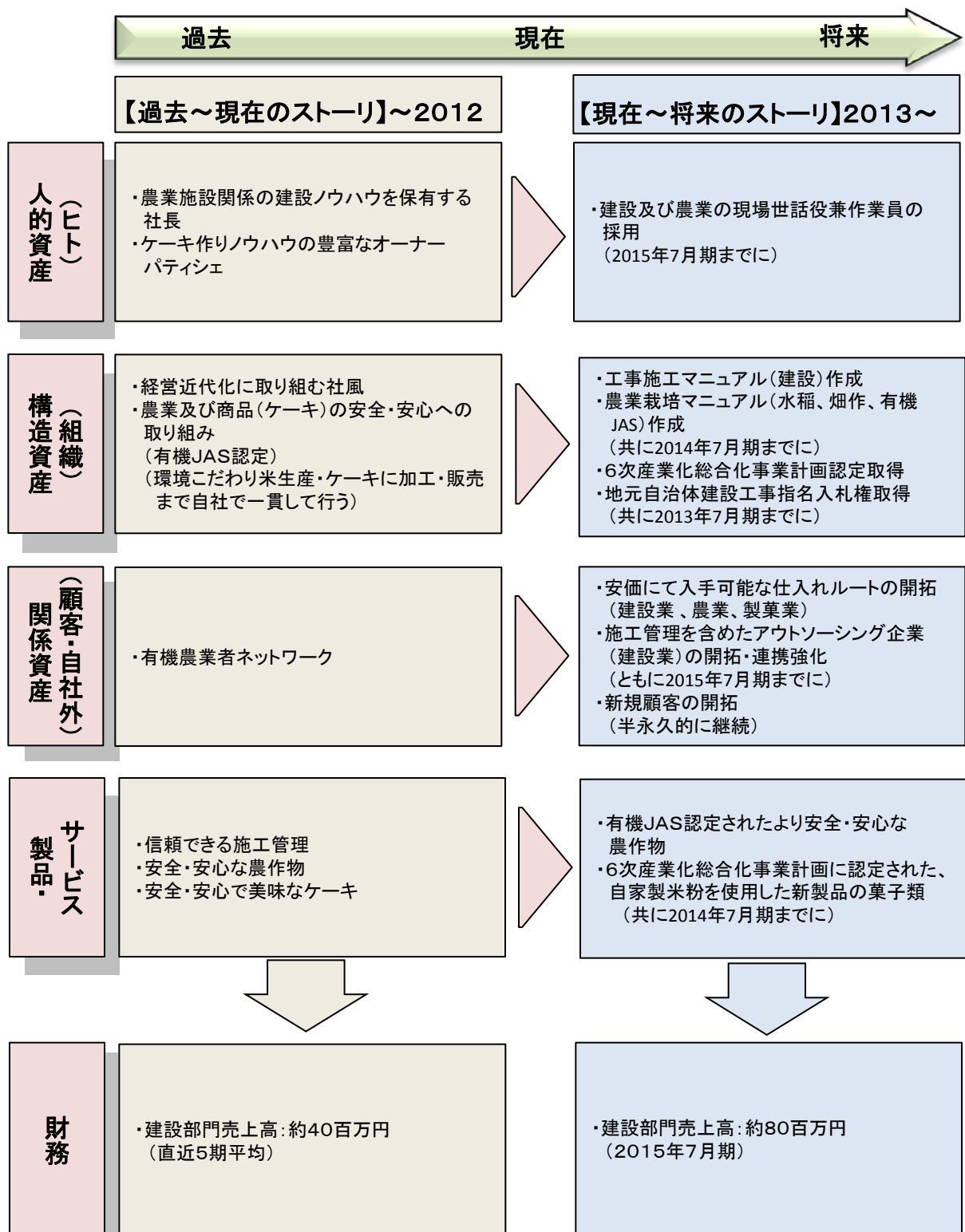
- ◆マニュアル類の整備
 - ・工事施工マニュアル
 - ・栽培手順書
- ◆施工管理要員の新規採用
- ◆指名競争入札参加権取得
- ◆新規取引先の確保
 - ・建設資材及びアウトソーシング
 - ・農業資材・製菓素材
- ◆6次産業化総合化計画認定

(3) KPI(重要業績評価指標): 将来の経営戦略を達成するためのKPI

KPI	現状	将来
売上高(建設部門)	約40百万円(直近5期平均)	約80百万円(2015年7月期)
施工マニュアルの作成(建設) 栽培手順書の作成(農業)	手書きメモ程度 手書きメモ程度	2014年7月期までに正規版作成 2014年7月期までに正規版作成
6次産業化総合化事業計画の認定	申請書準備中	2013年7月期までに認定
高島市指名競争入札参加権取得	申請書準備中	2013年7月期までに取得

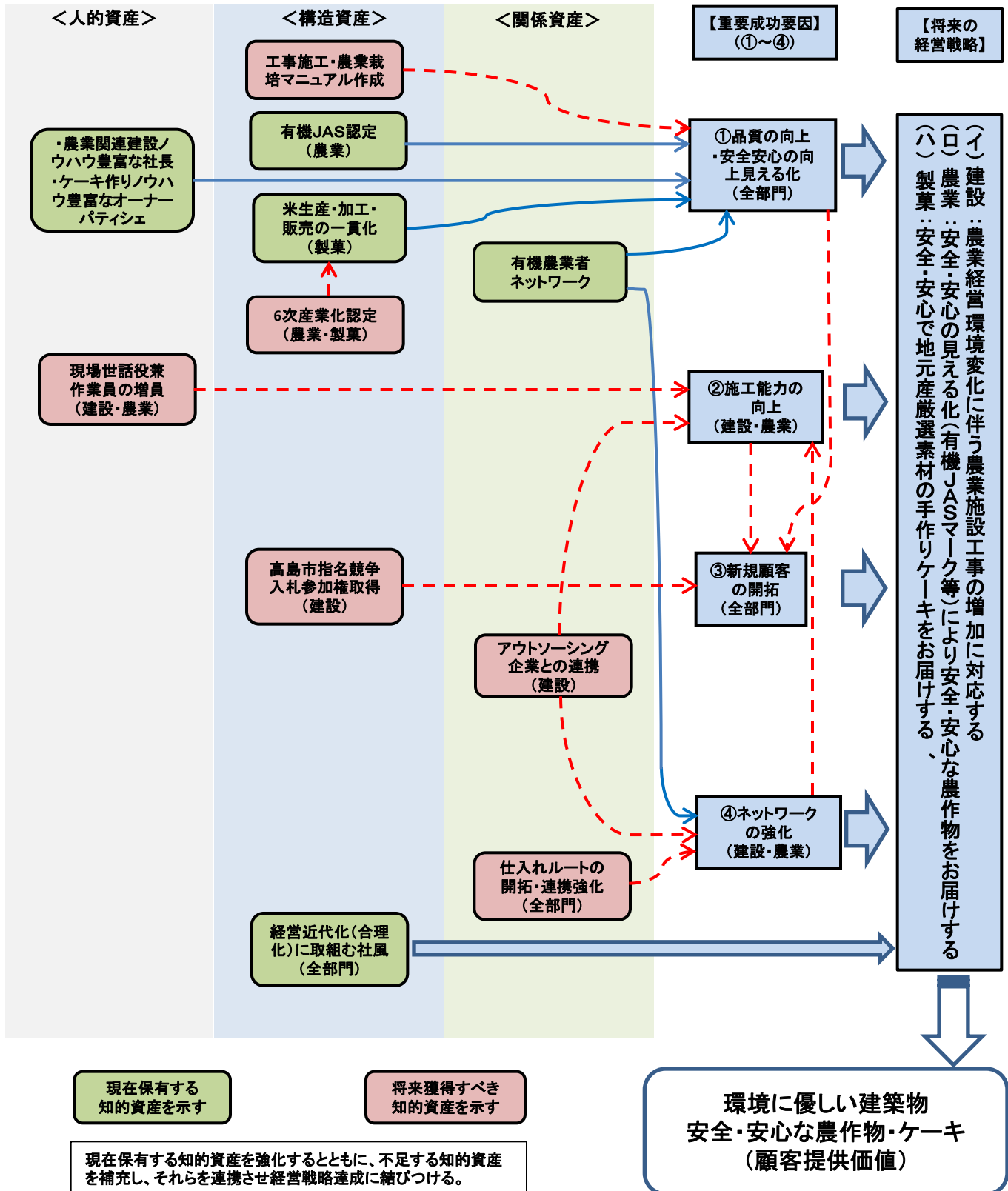
8. 価値創造ストーリーと知的資産活用マップ

(1) 価値創造ストーリー



8. 価値創造ストーリーと知的資産活用マップ

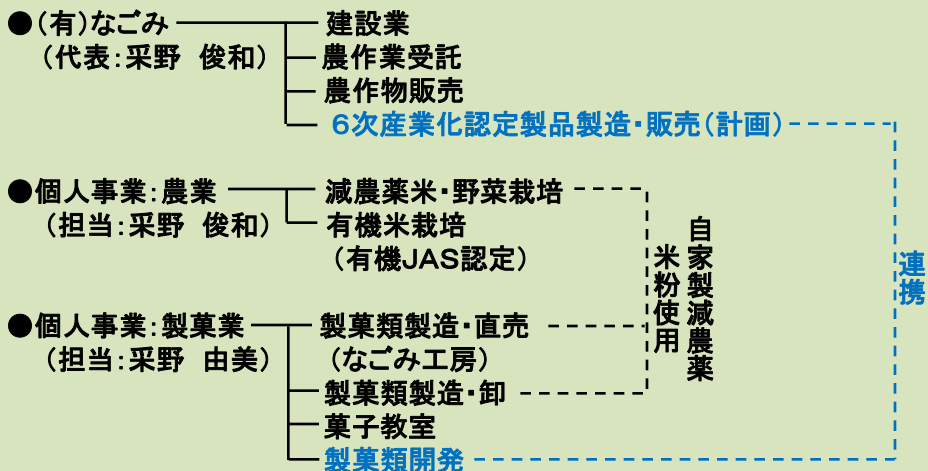
(2) 知的資産活用マップ



9. 会社概要

会社名	有限会社 なごみ
創立	平成18年4月18日
会社所在地	住所: 〒520-1652 滋賀県高島市今津町福岡830番地 TEL: 0740-24-7188 FAX: 0740-24-7189 メールアドレス: yuu-nagomi@cpost.plala.or.jp
代表取締役	采野 俊和
資本金	300万円
従業員	2人
事業内容	建設業、農業、(製菓業)
ホームページ	http://www.nagomikoubou.com/

なごみグループの事業内容



10. あとがき

(1) 知的資産経営とは

知的資産経営とは、従来バランスシートに記載されている資産以外の無形の資産であり、企業における競争力の源泉である人材、技術、技能、知的財産（特許・ブランドなど）、組織力、経営理念、顧客とのネットワークなど、財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源の総称を意味します。よって、「知的資産経営報告書」とは、目に見えにくい経営資源、即ち非財務情報を、債権者、株主、顧客、従業員といったステークホルダー（利害関係者）に対し、「知的資産」を活用した企業価値向上に向けた活動（価値創造戦略）として目に見える形でわかりやすく伝え、企業の将来性に関する認識の共有化を図ることを目的に作成する書類です。経済産業省から平成17年10月に「知的資産経営の開示ガイドライン」が公表されており、本報告書は原則としてこれに準拠しています。

(2) 注意事項

本知的資産経営報告書に掲載しました将来の経営戦略及び事業計画ならびに付帯する事業見込みなどは、全て現在入手可能な情報をもとに、当社の判断にて掲載しています。そのため、将来にわたり当社の取り巻く経営環境（内部環境及び外部環境）の変化によって、これらの記載内容などを変更すべき必要が生じることもあり、その際には本報告書の内容が将来実施又は実現する内容と異なる可能性があります。よって、本報告書に掲載した内容や数値などを、当社が将来に亘って保証するものではないことを、十分にご了承願います。

(3) 作成者

有限会社 なごみ
代表取締役 采野 俊和

(4) 作成支援

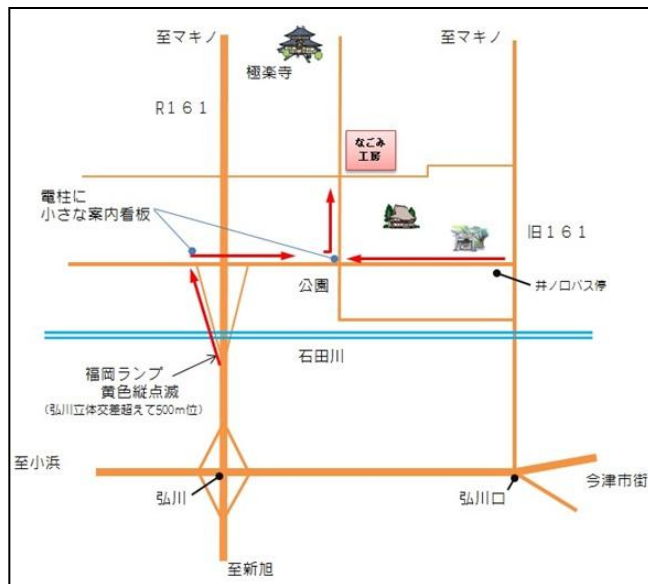
- 中小企業支援ネットワーク機関 滋賀県中小企業団体中央会 中嶋 和繁
 - 中小企業診断士： 菊田 倶光
- 登録： 中小企業支援ネットワーク強化事業登録専門家

(5) お問い合わせ先

有限会社 なごみ
〒520-1652
滋賀県高島市今津町福岡830番地
TEL: 0740-24-7188
FAX: 0740-24-7189
メールアドレス
: yuu-nagomi@cpost.plala.or.jp

(6) 発行

2013年1月



＜なごみ工房へのアクセス＞